

3.疾病予防の啓発

A. 健康セミナー・健康講座の開催

生活習慣病その他重要な疾病の予防・診断・治療に関する啓蒙、啓発および普及を図るため、健康セミナー・健康講座ならびに広報活動を以下のとおり実施した。

第49回健康セミナー

開催日時：令和5年11月13日（月）

場 所：日本橋三越本店6階 三越劇場

主 催：公益財団法人 三越厚生事業団

後 援：日本高血圧学会・日本循環器学会・日本心臓病学会・日本心不全学会
日本総合健診医学会・日本人間ドック学会

講演内容：演題『まだ間に合う！生活習慣病の視点から見た「心不全パンデミック」対策』

講 師：浅井邦也 先生（日本医科大学 循環器内科 主任教授）

参加人数 170名

<講演内容>

「パンデミック」とは、感染の大流行を示す言葉で、新型コロナウイルスの流行によりご存じになった方も多いと思います。心臓病においても今後「パンデミック」が起こることが危惧されており、それが2030年頃にピークを向かえると言われている「心不全パンデミック」です。もちろん、心不全は感染して広がる病気ではありませんが、超高齢化社会である日本において心不全の爆発的な増加が予測されています。また、既に心臓病による死亡数は癌に次ぐ数に増加しており、その多くが心不全です。ところで、心不全の原因が身近にあることをご存じですか？ 不適切な食事や運動不足、喫煙などで起こる、高血圧、糖尿病、脂質異常症、慢性閉塞性肺疾患といった生活習慣病が心不全に関係していることがわかっています。

今回の健康セミナーでは、心不全の発症そして心不全パンデミックによる医療崩壊を防ぐための対策を生活習慣病の予防、治療の視点から、皆様と一緒に考えたいと思います。

<浅井邦也先生 略歴>

職 歴：

1988年3月	日本医科大学 卒業
1988年5月	日本医科大学 第一内科入局
1990年4月	厚生年金 湯河原病院 内科
1992年4月	日本医科大学 第一内科 研究生
1994年1月	日本医科大学 第一内科（集中治療室） 医員助手
1995年5月	米国 パトナー教授の研究室に留学 ハーバード大学心臓血管部門 リサーチフェロー
1997年7月	米国 アルゲニー大学心臓血管・肺研究所 リサーチフェロー
1998年7月	米国 アルゲニー大学心臓血管・肺研究所 Assistant Professor
1999年6月	米国 ペンシルベニア州立大学 ワイズ研究センター Assistant Professor
2000年5月	日本医科大学多摩永山病院 内科 医員助手
2002年4月	日本医科大学 第一内科 医員助手
2008年4月	日本医科大学内科学講座（循環器・肝臓・老年・総合病態部門）病院講師
2009年7月	日本医科大学内科学講座（循環器・肝臓・老年・総合病態部門）医局長
2009年10月	日本医科大学内科学講座（循環器・肝臓・老年・総合病態部門）講師
2011年10月	日本医科大学内科学講座（循環器・肝臓・老年・総合病態部門）准教授
2012年4月	日本医科大学内科学（循環器内科学）（改組）准教授
2018年4月	日本医科大学千葉北総病院 集中治療室 部長
2019年4月	日本医科大学千葉北総病院 病院教授 副院長
2022年10月	日本医科大学大学院医学研究科 循環器内科学分野 大学院教授 日本医科大学付属病院 循環器内科 部長 心臓血管集中治療科

現在に至る

<専門領域>

臨床：慢性および急性心不全、虚血性心疾患、冠動脈インターベンション
 基礎研究：心不全の病態生理、心不全における性差医学、加齢現象

<認定医> 日本内科学会認定医

<専門医> 総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本脈管学会認定専門医、
日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医

<所属学会> 日本内科学会、日本心不全学会、日本集中治療医学会

<役員> 日本循環器学会（代議員）、日本心血管インターベンション治療学会（代議員、地方会運営委員）、
 日本脈管学会（評議員、専門医制度委員会委員）、日本心臓血管内視鏡学会（評議員）
 日本心臓病学会（代議員）

【2】第47回 健康講座 Web

開催日時：令和6年3月7日（木）～3月29日（金）

Youtube 期間限定配信

主催：公益財団法人 三越厚生事業団

演題 「メタボリックシンドロームと肝障害およびコーヒーの効用」

講演1 「メタボリックシンドロームと脂肪肝」

講演2 「メタボリックシンドロームとコーヒーの効用」

2-① 「コーヒーと肝障害・コーヒーと肥満」

2-② 「コーヒーと高血圧・コーヒーと糖尿病・コーヒーとその他の病気」

講師 船津 和夫先生

アクセス総数 640回

B. 生活習慣病健診報告会健康管理者セミナー

当事業団では、生活習慣病健診を受託している各企業・団体ならびに健康保険組合の参加のもと健康診断にかかわる情報の提供を毎年行っていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

C. 広報活動

令和5年度は、「事業年報の作成」「ホームページによる情報発信」の広報活動を行った。

1. 事業年報の作成・ホームページ掲載

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）に実施した集団健診、診療等統計調査と観察結果などをホームページに掲載した。

2. 三越厚生事業団ホームページによる情報発信

公益財団法人としての経営情報の開示、公益活動の紹介等を行った。また、診療・健診情報をリアルタイムに更新した。